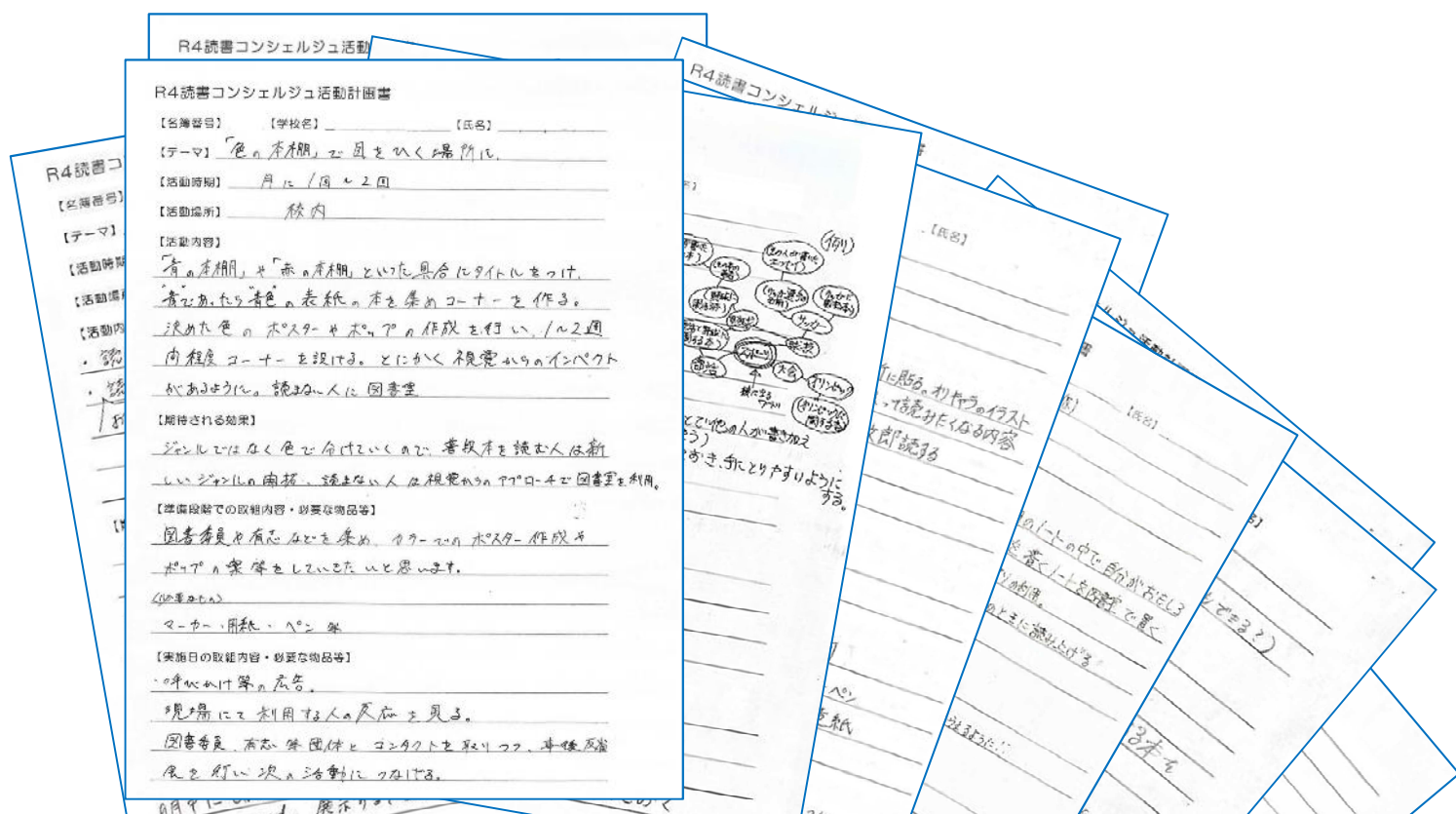


# 読書コンシェルジュ 学校での活動計画



栃木県教育委員会では、高校生読書活動推進リーダー「読書コンシェルジュ」の育成・任命を行っています。

本資料は、令和4年8月に、読書コンシェルジュが同世代に読書の楽しさを広めるために作成した活動計画書をまとめたものです。

今後、読書コンシェルジュは、本資料を参考にしながら、所属校で読書活動推進に係る取組を実施することとしています。

【テーマ】 他のおの好きな本を知る

【活動時期】 検討中

【活動場所】 図書室

【活動内容】

- ・図書室前のホワイトボードに自分の好きな本や作家の名前、どんなところが好きなのかを1文で書いてもらう。
- ・選んだ本の表紙などを隠して、その本を紹介する絵やキャッチコピー、ジャンルの紹介文などを近くにおいておく。

【期待される効果】

- ・自分が普段読まない本や他の人が好きな本を知る。  
→新しい本に出会ったり、友人と本の話で盛り上がったりすることができる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ホワイトボードを1台貸していただけるか交渉 [紙、ペン]
- ・本を選び、その本についての絵や文章を作成 [紙、ペン]  
その後、本を紙で覆い隠して、文章等を紙に貼りつける。  
・司書の方と図書館内での場所の相談 [ブックカバー (紙)、のり]

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・生徒への呼びかけ (「ぜひ書いてください」等)

【テーマ】 学級文庫で朝読の活性化

【活動時期】 10月～3月

【活動場所】 各教室の廊下

【活動内容】

各教室に図書館の本を数冊おく。

- ・1か月ごとに本を入れかえる。ポップや紹介文を置けるとよい。
- ・テーマは決めずに、様々な種類の本を用意する。
- ・シリーズものの1巻目を用意する。
- ・家で読みたい人は図書室で借りる。

【期待される効果】

- ・気軽に本を手にとることができる → 朝読で全員が読書をすることができる
- ・シリーズものを読む → 続きを読むために図書室に行く

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ポップ (各教室に対して1つ)      ・本数冊 (適当に選ぶ)
- ・机、本立て、貸出し名簿 (クラス単位で行えないならば、学年単位で行う)

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・本を並べる。      ・図書委員にアナウンスしてもらう。

【テーマ】 本を身近に

【活動時期】 10月～3月

【活動場所】 校舎内

【活動内容】

- ・Web小説や電子書籍をタブレットや図書室のパソコンなどを使って読めるようにしたい。
- ・学級文庫など、図書室に行かなくても本を読める環境を整える。

【期待される効果】

- ・本を手に取りやすくなる環境ができる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・学級別で置く本を決める（シリーズ本はできるだけ外す）。
- ・タブレットで小説が読めるか確認する。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・決めた本を学級に置く。

【テーマ】 季節の本棚作りでジャンル問わず本を読もう！！

【活動時期】 11月～2月

【活動場所】 学校図書館

【活動内容】

- ・冬の本棚作り

図書館内の目立つ本棚に、アンケートで集めた「冬に読みたい本」に関連する本をまとめた本棚を作る。

→目立つように、冬の風物詩のイラストや小物を作成（できれば本の紹介ポスター）

- ・アンケート

冬に読みたくなる本を全校生徒に答えてもらう。

→これを基に本棚を作成（文学に偏りそうなため、図書委員で他のジャンルも取り入れる）

【期待される効果】

- ・季節を通して文学以外の作品を読む → 他のジャンルの本にも興味がわく！

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・本棚の写真を撮り、ポスターを作成（大まかな本の説明をのせるとよし）

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・ポスターを廊下と各教室に一枚ずつ掲示する。

→ 朝のHRで図書委員が紹介

- ・一人1枚、シール表を配る。マス目に一つずつジャンルを書く（哲学、歴史、文学など）。

→ 一つのジャンルにつき、シール1枚を貼る（貸出しの時に出す）・マスがシールで全て埋まったら、プラス一冊券をプレゼント

【テーマ】 おすすめ本コーナー

【活動時期】 10月～

【活動場所】 図書室

【活動内容】

- ・ 図書室の入口付近に、図書委員と協力しておすすめ本コーナーをつくる。
- ※おすすめ本コーナー → ポップを作成し、本の表紙が見えるように置く。
- ※ポップ例（メモ）：「理系にも刺さる本」とか良い。

【期待される効果】

- ・ 普段から図書室で本を借りるという人も、新たなジャンルを読むきっかけになるし、授業で来ただけの人も本に触れる機会ができる。 → 読書生活向上！

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ 司書の方と話し合っってスペースを確保
- ・ ポップを作成
- 本を借りた人に紙を渡してポップ作成に協力してもらう。回収BOX等を設置するのも良い。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・ ポップ用の紙（サイズはハガキより小さめ）
- ・ (あれば) 本立て、ポップをとめるクリップ又はポップ立て

【テーマ】 映画やドラマで本を楽しもう！

【活動時期】 10月～3月

【活動場所】 校舎内

【活動内容】

- ・ 映画化・ドラマ化した本の展示 → 映画化・ドラマ化した本をポップ付きで図書室に展示する。
- ・ ポスターの掲示 → 図書室に展示する本の中から何冊かを選出し、ポップ付きのポスターを作成後、昇降口や職員室などに掲示する。

【期待される効果】

- ・ 原作を知らない人でも本に対する興味がわきやすい → 図書室の利用人数が増える

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ 映画化・ドラマ化された本を調べ、図書室にある本から選出する。
- ・ ポップを作成する。[ポップ用紙、カラーペン、シール、マスキングテープ]
- ・ ポップ付きのポスターを作成する。[ポスターの用紙]

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・ 映画化・ドラマ化された本を図書室に展示する。
- ・ 作成したポップを本と一緒に展示する。ポップ付きのポスターを校内に貼り出す。
- ・ 図書委員が各クラスで呼びかける。

【テ ー マ】 本に興味を持ってもらう

【活動時期】 12月～2月

【活動場所】 校舎内

【活動内容】

- ・ Yes / No方式での質問で、おすすめの本を決める。
- ・ 図書館内はもちろん、できれば廊下にも掲示する。
- ・ おすすめの本についてのポップをつくり、図書館の入口付近に設置する。

【期待される効果】

- ・ 本に対する興味を楽しく持ってもらうことができる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ おすすめの本を決める。ジャンルごとに区切ってもよい。
- ・ おすすめの本のポップ作り。
- ・ Yes / No方式の紙を作る（色づかいやイラストを気にして）
- ・ 生徒、先生への呼びかけ（図書館やできれば廊下に紙を掲示）

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・ 作成した用紙を校舎内に掲示する。
- ・ おすすめの本のポップを図書館に設置する。

【テ ー マ】 図書室に来てもらおう！ 本を知るのはいそからだ…。

【活動時期】 目安として年4回、季節に分ける  
(4月～6月、7月～9月、10月～12月、1月～3月)

【活動場所】 各教室や廊下など、図書室外

【活動内容】 ※どれか1つでもOK

- ① 表紙とキャッチコピーで目を惹こう（表紙の著作権に注意！）
- ② 教室にシリーズ系の本の1巻だけを配置しよう
- ③ 様々な著名人の作品を集めた短編集（ブックレット的な）を作り配置しよう  
↓
- ④ ポップで本の宣伝！ 本のジャンルごちゃ混ぜ福袋（in 図書室）

【期待される効果】

- ・ 関心や興味をもって図書室に足を運んでもらえる効果

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ 担任の先生や図書委員と協力する。
- ・ 事務用具が一式あるとよい。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・ 見えるところに画鋲等で固定してほしい。
- ・ クラス内に置いてあると思うので、新しく用意する必要はない。

【テーマ】 本に親しみを持ってもらう

【活動時期】 読書週間

【活動場所】 校内

【活動内容】

本のイベント

- ・好きな本（漫画・ラノベもOK）を持ち寄って、お互いの本のおすすめポイントを話し合っ  
て交換する。後で付箋（か何か）に感想を書いてもらって交換する。
- ・図書委員が選んだ本の中の好きな文章、表現を作者名・題名と本と一緒に提示する。

【期待される効果】

- ・本を読むことへの抵抗感、苦手意識を減らすことができる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・イベントの内容の告知（ポスターなど）
- ・イベントをする場所の確保
- ・図書委員が好きな本を選ぶ、好きな表現（文章）の掲示  
→ 色紙、コピー用紙、画鋏、セロハンテープか両面テープ

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・図書委員から各クラスへの呼びかけ
- ・図書委員の選んだ小説の一文を本と一緒に図書室に掲示

【テーマ】 本を読んで景品をゲットしよう！

【活動時期】 11月～

【活動場所】 図書室

【活動内容】

- ・借りる本の冊数にノルマを課して、ノルマを達成した生徒には景品をプレゼントする。  
景品→（美術部などに協力をお願いして）かわいい絵柄や人気アニメのキャラクターが描かれ  
た本のしおり
- ※図書委員の方たちとポップを作成し、ポップにある本を借りると2冊カウントになるなどの特別  
ルールを設ける。
- ※歯みがき中に時間があることが多いので、ポップは水道付近の壁に掲示する。

【期待される効果】

- ・多くの生徒が図書室に足を運んでくれるのでは！？

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・厚紙、色ペンやマスキングテープを準備する。
- ・図書室の先生に相談して、しおりを何枚くらいつくれば良いか考える。  
（10種類くらいデザインを作ってカラーを印刷していただく）

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・スタンプカードに1冊借りるごとにハンコを押して、ハンコが全部たまったらしおりをプレゼン  
トする（ハンコを準備する）。



【テーマ】 本で知識を深めよう

【活動時期】 10～3月

【活動場所】 学校図書館

【活動内容】

<ポップの展示> 学習のために図書室を利用する生徒が多いため

- ・机や入口に、学習に関連する本の紹介ポップを置く。
- ・机ごとに違う教科のポップを置き、座る席によって違う本を紹介できるようにする。  
→ 思いがけない分野に興味を持ってもらえるかもしれない。

【期待される効果】

- ・学習のために図書室を利用している生徒にも本を手にとってもらう機会が増える。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・教科ごとに関連する本や本の分類番号を調べる。
- ・図書委員と協力し、ポップを作成 [ポップ用紙、カラーペン、マスキングテープ]
- ・ポップには、分類番号や本の場所を明記し、気軽に手に取れるようにする。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・図書館の入口や机上にポップを展示する。
- ・学習の休憩時間や帰り際に思い出してもらえるように、目に付きやすいところに展示するように心がける。

【テーマ】 人と人、本と本のつながりを

【活動時期】 12～3月（予定。行事等を考慮する。）

【活動場所】 学校図書館内または図書館前の廊下

【活動内容】

- ・図書館の室内または廊下に黒板（ホワイトボード）を設置し、図書館を利用した人や廊下を通りかかった人に、おすすめの本について「ひとこと」書いてもらう。そして、それを見た人がその本を読み、感想を近くに書き込んでいく。掲示板のような感じ。

【期待される効果】

- ・学年を越えたコミュニケーション
- ・図書についての関心の高まり
- ・本と気軽に関われるような雰囲気づくり

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・黒板、チョーク等（黒板に車輪付きの物だとよい）
- ・告知するプリント等（Word等で作る）

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・基本的には準備段階の時と同じ

【テ ー マ】 図書室の利用人数を増やす

【活動時期】 検討中

【活動場所】 学校

【活動内容】

- ・ポップの作成、展示
- ・本の紹介
- ・一行を紹介

【期待される効果】

- ・ポップを置くことによって、多くの人が手に取ってもらえる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・紙、ペン、マスキングテープなど

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・ポップの作成、展示 [紙、ペン、マスキングテープなど]

【テ ー マ】 読書が苦手な人も楽しめる本を！

【活動時期】 検討中

【活動場所】 検討中

【活動内容】

- ・初めて本を読む人でも読みやすい本を紹介する  
ポップ、紹介コーナー、プリント作成など
- ・プリント  
図書委員の人たちが「この本は読みやすいな」と思った本をまとめる

【期待される効果】

- ・次に読みたい本がわかりやすい → 図書館の利用率UP

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ポップ、紹介コーナーを設置する場所、プリントの紙を準備する。
- ・どの本を選ぶか決めておく。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・プリントの配布、コーナーの紹介



【テーマ】 本に触れる機会を増やそう

【活動時期】 12月ごろ

【活動場所】 学校の図書館

【活動内容】

読書コンシェルジュや図書委員、先生がおすすめする本を一人2冊以上小さな紙に書いて、それを箱に入れ、くび引きとして図書室に置く。

この活動をしているということを図書館だよりなどで宣伝し、図書館に来た人にくじを引かせて、その本を借りてもらう。

【期待される効果】

・ 図書館に来る生徒が前よりも増え、本を読む機会も増える。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ 紙、紙を入れる箱
- ・ 箱を装飾するためのマーカー

【実施日の取組内容・必要な物品等】

・ 自分の借りる本がどこにあるのか分かりやすいように、机に並べて置く。

【テーマ】 世界の子どもたちが読んでいる本

【活動時期】 11月～3月

【活動場所】 校内図書館

【活動内容】

ポップの展示を中心とした「新しい発見・気づき」ができるようなものにする。世界で有名な本の日本語版があるかを調べて、その本を展示し、ポップを作成する。

【期待される効果】

・ 国内だけでなく、国外にも本の視点を置くことで生徒の興味関心が引き出される。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ 世界ではどのような本が有名、人気なのか。また、それはどこの国で読まれているのか、日本語版は存在するのかなどの情報を事前に調べておく。
- ・ ポップ作成で必要なものを準備する。[例：画用紙]

【実施日の取組内容・必要な物品等】

・ 作成したポップを展示するコーナー（場所）の確保

【テーマ】 世間で話題になっていることを知ろう

【活動時期】 10月～3月

【活動場所】 校舎内

【活動内容】

- ・世間で話題になっていることに関する本の紹介のコーナーを作る。
- ・掲示板等にポスターを貼る。

【期待される効果】

- ・普段本を読まない人にも興味を持ってもらえる。
- ・入試の時事問題への対策になる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ポップやポスターの作成
- ・本の選定

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・図書室にコーナーを作り、なるべく人目につきやすい場所にポスターを貼る。

【テーマ】 マインドマップで様々な本と出会う

【活動時期】 検討中

【活動場所】 図書室

【活動内容】

- ・核となるワード（テーマ）を決める。
- ・それに関するワード（本のタイトル、ジャンル、モノなど）を大きな紙に連想ゲームのように広げていく。
- ・マインドマップを図書室に貼り、様々な本に興味を持ってもらえるようにする。
- ・この図は、最初は自分たちが広げるが、後で他の人が書き加えられるようにしておく。  
（付箋などを使う）
- ・この図に出てきた本は近くに置いておき、手に取りやすいようにする。

【期待される効果】

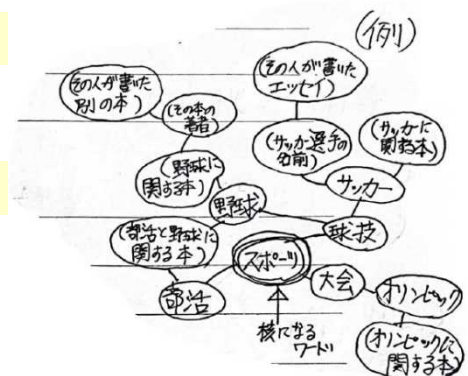
- ・新しいジャンルや本との出会い

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・核になるワードを決める
- ・マインドマップを書き広げる [大きな紙、ペン、付箋]

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・図書室にマインドマップを貼る。
- ・近くに出てきたタイトルの本を置く。
- ・書き加えられるように付箋とペンを置いておく。



【テ ー マ】 ジャンルを統一したポップの展示

【活動時期】 10月～3月

【活動場所】 図書室

【活動内容】

- ・テーマを統一してポップを書き、図書室や校内の掲示板等に掲示する。
- ・ジャンルごとにスペースを作る。

【期待される効果】

- ・そのジャンルが気になる人が、ポップに書かれた本を読んでもくれる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・自分のテーマに沿ったおすすめの本
- ・用紙

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・自分で用意したポップ

【テ ー マ】 本の紹介で読書の機会増

【活動時期】 検討中

【活動場所】 図書室

【活動内容】

- ・貸出しが多い本のランキング表  
本とポップとともに図書室に掲示する。
- ・学年ごとのおすすめ本を選書  
どんなジャンルでもよい。ポップとともに展示する。

【期待される効果】

- ・どんな本を読めばよいか分からない人が、本を手にとってくれるかもしれない。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・貸出しが多い本のランキング作成 [模造紙]
- ・ポップの作成 [ポップ用紙、カラーペン、色鉛筆等]
- ・おすすめ本の選書

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・作成した表の貼り付け
- ・作成したポップ、おすすめ本の展示

【テーマ】 おすすめ本の断片小説で本との出会いを！

【活動時期】 検討中

【活動場所】 検討中

【活動内容】

- ・図書委員おすすめの本数冊から文を集め（1冊当たり1、2文くらい）、断片小説をつくる。  
※先生や生徒からも募集する（何をするか伝えずに）。
- ・文を用いた本のポップ1・2枚をセットで貼る。  
※その文がのっているページ数もポップに書く（例：p13 6～7行目など）。
- ・つくった小説（作文1枚くらい）をコピーして学校の廊下、昇降口など人が集まる場所に貼る。
- ・図書室にその本とポップ、断片小説のコピーをセットで展示する。
- ・ジャンルは偏らないようにする（何回かできるならジャンルやテーマを決めても可）。

【期待される効果】

- ・図書室に来てもらい、本を手にするきっかけをつくることできる。
- ・普段から本を読む人でも新たな本と出会うことができる。読書の幅を広げることができる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

検討中

【実施日の取組内容・必要な物品等】

検討中

【テーマ】 「色の本棚」で目をひく場所に

【活動時期】 月に1回から2回

【活動場所】 校内

【活動内容】

- ・「青の本棚」や「赤の本棚」といった具合にタイトルをつけ、「青」であったら「青色」の表紙の本を集めたコーナーを作る。
- ・決めた色のポスターやポップの作成を行い、1～2週間程度コーナーを設ける。とにかく、視覚からのインパクトがあるように。本を読まない人に図書室に来てもらう。

【期待される効果】

- ・ジャンルではなく色で分けていくので、普段本を読む人は新しいジャンルの開拓、読まない人は視覚からのアプローチで図書室の利用につながる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・図書委員や有志などを集め、カラーでのポスター作成やポップの案の作成をしていきたい。  
[マーカー、用紙、ペンなど]

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・呼びかけ等の広告を行う。
- ・現場にて利用する人の反応を見る。
- ・図書委員、有志等の団体とコンタクトを取りつつ、事後反省会を行い、次の活動につなげる。

【テーマ】 本の興味を促進させよう

【活動時期】 10月～3月

【活動場所】 校舎内

【活動内容】

- ・ポスター、ポップの掲示  
昇降口などの目立つ所に貼る。  
(オリジナルキャラのイラスト、ふとした瞬間、目に入って読みたくなる内容)
- ・校内放送  
先生や図書委員がおすすめする本の1文を朗読する(時間:お昼)。

【期待される効果】

- ・本が気になった人が図書室に行く → 利用者UP

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・先生、図書委員、放送委員の協力
- ・放送室利用許可
- ・ポップの作成(図書委員を中心に作成) [ポップ用紙、カラーペン]
- ・昇降口、教室へのポスターの掲示 [ポスター用の模造紙]

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・校内放送では、おすすめの本の1文と、なぜおすすめなのかを1～2分話す。
- ・ポップをポスターに貼り、ポスターを昇降口に展示する。

【テーマ】 図書室以外で本を読む

【活動時期】 7月～12月

【活動場所】 校内

【活動内容】

- ・図書室以外でも本を読んでもらえるように、本を手に取りやすい場所をつくる。
- ・教室の前や教室の中に本棚を置いておく。

【期待される効果】

- ・いろいろな本を手にとってもらい、本に興味を持ってもらう。そして、本を借りてもらう。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・どんな本を選ぶか、どんな本棚にするか、どこに本棚を置くか。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・教室の前か中に本棚を置く。

【テーマ】 交換図書

【活動時期】 10月～

【活動場所】 各クラス、学校

【活動内容】

- ・おすすめの本を5～6冊選んで、グループにする。それを何組か作って、1か月ごとに次のクラスにまわす。他の図書委員を巻き込む。3年生の実施は要検討（息抜きにやるべき?）。

【期待される効果】

- ・空き時間に本を手にとることが増える。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・おすすめの本を選ぶこと
- ・本を入れるケース

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・クラスに配ること（各クラス分の本の準備）

【テーマ】 本好きによる布教会（仮）

【活動時期】 未定、お昼の放送

【活動場所】 校舎内

【活動内容】

- ・ブックトークをノートの中でやる。1冊のノートの中で自分がおもしろいと思った本、その本のアピールポイントを書くためのノートを図書室に置く。  
（ネットにも→Google フォームやアンケートアプリの利用）
- ・月1回、図書委員、読書コンシェルジュがお昼の放送の時に読み上げる。

【期待される効果】

- ・放送を聞いた生徒、先生に運命的な出会いを！！
- ・好きな人にはもっと本を好きに、苦手な人にも本を読んでもらえるように！！

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・お昼の放送の許可
- ・ノートの購入、感染症予防
- ・予告方法は企画が決定したら検討

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・行事やテストが無いときは、年間をとおしてやりたい。  
[ペン、ノート、意欲がある人 ← 一番大事]

【テーマ】 ○○で世界一周

【活動時期】 今年度

【活動場所】 学校内の図書室（市町の図書館でもできる？）

【活動内容】

- ・日本語、英語の本の両方を用意する。
- ・テーマ（旅行、語学など）に沿った分け方をして展示する。
- ・「旅行」のテーマだったら、移動手段に関する本を置いてもよいかも。

【期待される効果】

- ・コロナ禍で旅行に行くことが難しい中、本を読んだり借りたりしてもらうことで、世界のことを知ってもらえる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・本を探し、配置を考える。
- ・先生、生徒に呼びかける（ポスター、放送）。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・普段は図書室に来ない人にも興味をもってもらえるよう、配付物として告知のペーパーを配っておく。

【テーマ】 本とつながる新しいカタチ

【活動時期】 随時（昼休みの時間、特にお昼の時間）

【活動場所】 放送室、図書室

【活動内容】

- ・校内放送で、図書室の本の朗読をする。
- ・質問箱を設置して、感想や読んでほしいリクエストなどを募集する。  
（感想はポップにまとめて、図書室にその本と一緒に提示する）

【期待される効果】

- ・新たな本との出会い

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・演劇部の協力を得る（できれば）。
- ・先生に話を通す。
- ・朗読する本を選書する。
- ・質問箱を作る材料を準備する。[ダンボール、紙、筆記具など]

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・昼休みに朗読の放送をする。  
[本、質問箱（リクエスト箱）]



- 【テーマ】 「移動する」本で図書館に来る機会を増やし、本に触れる機会を増やす
- 【活動時期】 9月下旬～3月
- 【活動場所】 廊下（教室棟） ※生徒の通行の邪魔になる場合、変更
- 【活動内容】

## ①移動式図書館

- ・キャスター付きの本棚に図書室の本を乗せ、廊下で本棚にある本を借りることができるようにする。
  - ・本棚に乗せる本は、テーマを決めたうえで選出する（週ごとに乗せる本を変える）。
  - ・主に高校1年生、2年生の図書委員、ボランティアで活動を行う。
  - ・余裕があればしおりなどを作り、借りた人に渡すようにする（図書室でも同様に、期間限定で）。
- ※活動によって図書室に変化があったかどうか調べるために、定期的に図書室の出入り人数を調べる。

## ②毎月発行される「図書館だより」への市町立図書館の本でおすすめの本の紹介

- ・「図書館相互協力ネットワーク」についても紹介する。

## 【期待される効果】

## ①移動図書館

- 普段図書室に行かない人でも図書室にある本を知ることができ、図書室に行くきっかけを作ることができる。
- 図書室への入室率の向上、読書率の増加につなげられる。

## ②市町立図書館の本でおすすめの本の紹介

- 図書館相互協力ネットワークについて紹介したうえで、各市町立図書館の本について知ること、県内の図書館の本について関心を高められる。
- 学校外でも本にふれる機会が増やせる。

## 【準備段階での取組内容・必要な物品等】

## ①移動図書館

- ・図書室外で本を借りられるかどうかの確認
- ・乗せる本のテーマの検討
- ・いつ、誰が移動図書館の活動を行うかの検討
- ・廊下で活動できるかの確認
- ・図書だより、放送などを用いた移動図書館の宣伝

[本棚、色紙（テーマ書き込みに必要）、しおり用のイラスト、ラミネート、紐]

## ②市町立図書館の本でおすすめの本の紹介

- ・おすすめの本を書く人の確保

## 【実施日の取組内容・必要な物品等】

## ①移動図書館

- ・教室棟廊下に本を運び、本の貸出しを行う。

[準備時に用意した本棚]

【テーマ】 本と出会おう

【活動時期】 10月～3月

【活動場所】 校舎内

【活動内容】

- ・本の展示  
生徒全員（できたら先生方にも）対象のアンケート  
→ アンケートに準じた本の展示コーナーをつくる。
- ・本のレビュー  
有志の方や本を借りた人に紙を配ってレビューをしてもらう。レビューの紙はファイルにまとめて自由に見られるようにしたい。

【期待される効果】

- ・本への興味関心から図書室に足を運ぶ人が増える。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・アンケート内容を決めて、人数分をコピーする。  
（内容：好きなジャンル、作者、好きな本、おすすめの本など）
- ・レビューの紙を作成する。
- ・紙、展示に必要な材料を準備する。〔画用紙、模造紙、マスキングテープ、マーカー〕

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・アンケートを参考に関連図書を選書して展示する。  
（図書室の展示スペースが利用できれば使わせていただく）
- ・ポスターを作成し、呼びかけを行う。
- ・レビューの紙の配付、設置を行う。
- ・レビューをファイルにまとめて読めるようにする。

【テ ー マ】 高校生にいろいろなジャンルの本に興味をもってもらおう！

【活動時期】 10/27～11/9 の読書週間

【活動場所】 校内

【活動内容】

- ・ 1 学年の担任をしている先生方におすすめ本の紹介を書いてもらい、校内に掲示する。  
(廊下、昇降口)
- ・ 読書コンシェルジュの活動に参加した人たちで本のポップを作って、それを廊下などにかざり、どの本が 1 番おもしろそうか投票してもらい、チャンプ本を決める。

【期待される効果】

- ・ 全学年の中で普段あまり本を読まない人に興味をもってもらうきっかけになる。
- ・ チャンプ本を決めるなど、ゲーム性があるから、親しみをもってもらいやすい。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ ポップを書いた本の表紙をカラーコピーして、それを厚紙などに貼って掲示する。
- ・ イベントの告知として、生徒会に協力してもらい、校内放送とともに 1 クラス 1 枚の広告を配付する。
- ・ 投票方法としては、各階に本のコピーとポップを掲示して、余白を設け、読みたい本にシールを貼ってもらう (シールは用意しておく)。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・ 各階に本のコピーとポップを置きに行く。
- ・ 十分に告知する。

【テ ー マ】 ポップで読書機会増加！

【活動時期】 2 学期頃

【活動場所】 校内

【活動内容】

- ・ ポップを作って、学校内のいたるところに掲示する。全部の校舎に掲示して、読書の機会を増やす。

【期待される効果】

- ・ 読書をする人や、本を手にする機会が増える。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ 読書啓発用ポスター  
[紙、ペン (目立つ色など)]

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・ 廊下や踊り場へのポスターの掲示 [画鋏、セロテープ、両面テープ]

【テーマ】	本で感じる世界・芸術
【活動時期】	10月～3月
【活動場所】	図書館・校内（できれば中・高をまたいで行いたい）
【活動内容】	

①ポップ“世界地図制作”

視覚からアプローチ。興味のある国の本（文学、紀行文、名所など）。

→ 世界旅行、文化を感じることができる。

②朗読劇・ラジオドラマ風

聴覚からアプローチ。手間はかかるが、想像力をかきたてられる。学校のYouTubeを使わせてもらえないだろうか。異国感が出たら◎。

③芸術×本

原田マハ先生のような作品+αの実際の絵のような展示。

④読書クラブ

中・高にクラブがあることを生かしたい。「好きでも話す人がいない」中等部生に対応。

【期待される効果】

①ポップ地図

舞台の場所、ジャンルが分かりやすく、目に留まる。

②朗読・ラジオドラマ

本にふれるきっかけになる。読む手間が無くて済む。

③芸術×本

他の物に興味がある人も来やすい。

④読書クラブ

人と人がつながれる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

全体として先生方の協力が必須

①大きめの台紙など書けるもの・書くもの。すすめる本。

読書コンシェルジュ、司書の方を中心に制作。

②参加する人員、台本、場所。原作の本の選定必須。

③関連著書。（音）代表楽曲名、作曲者プロフィール・（絵）代表作、画家プロフィール・（舞）公演写真、名セリフなどをまとめたボード。

④中・高での連携が必要。また、日時・場所の決定が必要。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

①制作・展示を行う。

②事前にしっかり練習を行い、放送であれば朗読、生で行うなら来た人の席の案内、実演による。

③制作・展示を行う（①と同様）。

④読書コンシェルジュのメンバーを中心に運営、司会に対応。本を持ち寄ってもらえれば、なおよし。先生もいれば、より広く交流できる。

【テーマ】 朝の読書時間を有効に使ってもらう

【活動時期】 準備：9月～ 実行：10、11月頃

【活動場所】 校舎内

【活動内容】

- ・ 時事的な話題をテーマとしたポップの作成、図書館にある本の展示
- ・ Yes/Noチャートの作成
- ・ 本の文章の一行だけ書いて、題名や表紙を隠した掲示物等
- ・ 映像から想像へ（映像化した本） ※読者のレベルに合わせる

↓

これらのことについてポスター作成

【期待される効果】

- ・ 我々が紹介したおもしろい本について、また、おもしろい本がたくさんあるということを知ってもらえる。少しは本を読む人が増える。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ テーマに沿った本の選択及び調査
  - ・ 採用した本が図書館にあるか調査
- [ポップを書く画用紙、ポスター用の大きな紙]

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・ 採用した本を借りて図書館から運ぶ。
- ・ ポスターを貼る。

【テーマ】 秋の読書案内

【活動時期】 7月～11月

【活動場所】 校舎内

【活動内容】

- ・ 読書に関するアンケートを実施する。
- ・ おすすめ本、読書の効果をまとめたスライドを作成し、展示する。

【期待される効果】

- ・ 読書コンシェルジュのことを知ってもらえる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ アンケートの企画書を校長先生に提出 → 承認済
- ・ Google フォームでアンケートを作成

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・ 9月中にClassiにてアンケートを配信 → スライド作成
- [ipad、展示するためのボード、コピー機]

【テ ー マ】 匿名さんからのおすすめです

【活動時期】 9月～11月（ポップ集め） 10月～12月（掲示）

【活動場所】 図書館

【活動内容】

- ・図書館利用者にハガキ程度の紙を渡し、ポップを書いてもらう。ポップは匿名でも、ペンネームでも、本名でも可として、おすすめ本と作者、好きな一文を書いてもらう。
- ・ポップを集め、図書館の入口に掲示する（月1回更新）。その時、図書館に本があったらポップの横に置いておく。重複可。

【期待される効果】

- ・新たなジャンルの本を知るきっかけとなる。本に対する興味をもたせる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ハガキ程度の紙（なるべく多いほうがよい）を準備する。
- ・図書館の先生に内容を話し、協力してもらう。
- ・担任への告知の依頼を行う。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・掲示のための模造紙、色紙
- ・場合によっては、色ペンやマスキングテープなど

【テ ー マ】 司書さんと生徒の関わりを増やして図書室に行く人も増やそう！

【活動時期】 11月～12月

【活動場所】 校舎内（放送）

【活動内容】

- ・放送によるおすすめの本の紹介（お昼）  
司書の方と読書コンシェルジュで実施する。
- ・1冊の内容を1分くらいの原稿にまとめて紹介  
放送が難しい場合は、原稿をまとめたプリントをクラスに掲示する。  
司書の方の都合がつかない場合は、国語の先生などに相談して一緒にやってもらう。

【期待される効果】

- ・司書の方と生徒の関わりが増え、図書館に行く人が増える。
- ・放送にすることにより、全生徒の耳に入れることができる。 → 興味をもつ人が増える。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・学校の先生に相談し、司書の方に伝えてもらう。あわせて、放送の許可を得る。
- ・本を1冊決めて原稿を作成する。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・原稿
- ・放送準備、司書の方を呼びお昼に放送

【テーマ】 ポップで人が集まる図書館へ！

【活動時期】 検討中

【活動場所】 検討中

【活動内容】

・ポップの展示

校内の人の目がつくところにポップを置き（人の目につかないところに置いて、奇跡の出会いを演出するのもあり）、図書館利用と読書を少しだけ身近なものに感じてもらう。

【期待される効果】

・本への興味がわく → 図書館の利用率を上げる

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

・ポップの制作 → いろいろなジャンルのポップを作らなければならない

【実施日の取組内容・必要な物品等】

・検討中